

附属図書館における貴重資料の保存と公開

附属図書館における貴重書・和装古書の保存・公開と基礎的研究

研究代表者 山澤学 (室員・人文社会系准教授)  
 研究分担者 谷口孝介 (室員・人文社会系教授)  
 松井敏也 (室員・芸術系教授)  
 研究協力者 江藤光紀 (人文社会系准教授)  
 馬場美佳 (人文社会系准教授)  
 鈴木伸隆 (人文社会系准教授)  
 白戸健一郎 (人文社会系助教)  
 附属図書館 特別展WG (学術情報部)

当プロジェクトは、附属図書館資料活用の一環としての保存・公開という観点から、次の活動を通じ、附属図書館における貴重書・和装古書・洋書古書の体系的な調査研究とその成果の公開促進について検討することを目的としている。

- ① 貴重書展示室における常設展・特別展の計画・展示活動支援の推進。
- ② 貴重書・和装古書・洋書古書の基礎的調査・研究およびそれらの有効な保存・公開の方法・手法・知識・技術の研究。
- ③ 貴重書指定の要件に関する検討。

〔成果1〕特別展の計画・展示活動

令和3年度 筑波大学附属図書館特別展

「時を数む—紀年・暦法・元号—」

- ・人文社会系と共催。
- ・時間を数えて記録することは、人類の歴史において、政治的・社会的・文化的に重要な営為である。本特別展では、筑波大学附属図書館所蔵の貴重書・和装古書を通じ、古代に始まる時を刻む営為の成立から、現代日本における元号「令和」に至る紀年・暦法をめぐる文化を紹介し、私たちが生活のなかで時を数む意味を再考した。
- ・新型コロナウイルス感染対策にとともに、学外者の来場は制限され、学内者に向けてのみの公開となった。
- ・図録の編集・発行、電子展示・特別講演動画の作成・公開。
- ・学内来場者数：903名。



筑波大学 University of Tsukuba  
古典に親しもう!



無料体験学習実施!

日時: 2022年3月19日(土) 13:30~16:00  
 実施方法: Zoomによるオンライン  
 対象: 中学生・高校生(同様の保護者の方もご参加いただけます)  
 人数: 10名程度  
 申し込み: 右記QRコードもしくは下記URLよりお申込みください。  
<https://bit.ly/3yqHdd0>

参加方法などは申込アドレスに前日までにお送りいたします。  
 締切: 2022年3月16日(水)  
 問い合わせ先: mansaka@tulips.tsukuba.ac.jp (担当: 真中)



筑波大所蔵の古典籍(漢籍・日本の古典)の原本を直に読んでみよう

- 「明治」から「令和」へ—日本近代の元号の意味—
- 林鶯峰と『改元物語』

講師: 谷口孝介 (筑波大学人文社会系教授・日本文学)  
 山澤学 (筑波大学人文社会系准教授・日本史)

なお、都合によって、内容が多少変更になる場合もあります。

共催: 筑波大学 人文・文化学群 日本語・日本文化学類  
 筑波大学 附属図書館 研究開発室

〔成果2〕

中学生・高校生への古典籍普及活動

「古典に親しもう!」の開催

谷口孝介 「「明治」から「令和」へ—日本近代の元号の意味—」  
 山澤学 「林鶯峰と『改元物語』」

- ・人文・文化学群 日本語・日本文化学類と共催。
- ・成果1の関連企画として開催。
- ・令和4年3月19日(土) 13時30分~16時00分 zoomテレビ会議による開催を予定。

〔成果3〕

常設展示・小特集の計画・展示活動

- ・小特集「源平合戦を読む」『平家物語』ほかを展示。(近日公開予定)。
- ・次年度以降の小特集も計画・準備中。